

### ○見知らぬ男が、旧東栄小学校の校庭でたばこを吸っていた。パトロールをしてほしい。

・パトロールを強化するように設楽警察署及び駐在所へ要望します。また、町が所有する「青パト」の利用も多くします。 (総務課)

### ○広く町民から小さな改善を募ってはどうか。

・まさに「皆さんの声を町政へ」によって、今後も提案をいただければと思います。なお、町民の皆様からの提案などで改善できたものについては、広報紙や町のホームページで紹介をします。 (総務課)

### ○地区からの要望制度が機能していないように感じる。過去に要望した側溝修繕も未着手である。

・区からの要望は、毎年提出されており、緊急を要する要望を最優先して着手していますが、緊急を要しない要望は、そのまま未着手となっています。現在、事業課で過去にさかのぼり、地区別の集計と検討作業を行っています。作業終了次第、各区に報告します。町で現場精査のうえ、修繕等必要な箇所は、順次対応します。 (総務課・事業課)

### ○災害時の司令塔である役場を早く耐震性の建物にし、町民の安全を確保してほしい。

・現在の役場庁舎の耐震補強の重要性は、十分認識しておりますが、「第6次総合計画」にも記述しているように計画的に整備を進めることになっています。耐震補強・新築の両面を考慮しても、多額の費用を必要とするため、まずは財源をどうするのが課題となっています。自主財源が乏しい本町は、整備するための資金を長期的に確保するしかたがありません。よって現段階では、今後10年間の中で調査・研究を行いながら目標建設年次を定め、それに向けて財源確保を図っていきます。 (総務課)

### ○奈根直売所トイレのトイレトペーパーについて

・奈根の公衆トイレは、以前は毎日の清掃時にトイレトペーパーを補充設置していましたが、利用者が少ないシーズンにおいても欠品が続き、トイレ用でないペーパーの使用が原因の故障により、来町者にご迷惑をおかけすることが多いことから、数年前からトイレ用ペーパーの有料化を始めました。

利用者が困惑しないよう張り紙を準備するとともに、トイレトペーパーが常設できるような仕組みと設備の見直しを考えたいと思います。 (振興課)

### ○次世代のために自治体として自立を目指すこと

・第6次総合計画の方針に合致する考え方であり、ご理解と後押し感謝します。

(振興課)

### ○タクシー券の利用範囲に介護施設(やまゆり荘)を加えてほしい

・やまゆり荘では通所介護(デイサービス)や短期入所生活介護(ショートステイ)は、やまゆり荘で送迎しているとお聞きしました。ただし、短期入所か生活介護(ショートステイ)は、土日祝日は、送迎を行えないとのことでした。

ご要望の具体的な内容がはっきりとわからないため見当違いの回答になりましたら、再度ご要望いただければと思います。

(住民福祉課)

### ○病院を耐震性の建物にしてほしい

#### ○会計処方箋のスピーディ化を

・今後の病院の整備方針は、今年の9月頃までに決める予定です。その後出来る限り早い時期に耐震性のある建物を整備したいと考えています。なお、現在の会計・処方箋のスピーディ化につきましては、実際に病院を運営しているせせらぎ会から次のとおりの回答をいただきましたのでよろしくお願いたします。

(住民福祉課)

・会計などの待ち時間が長くなることもあり、皆様にはご迷惑をおかけしておりますこと、申し訳ございません。

会計の計算につきましては、診察終了後、カルテ(診療記録)に医師の記入が終わるとそのカルテ(診療記録)が会計へ渡され、その後、会計担当が会計の計算処理を行います。診察している医師は4名から5名ですが、会計計算は2名で行っており、会計処理を行えるパソコンの台数も限られ、できうる限りの努力を致しているつもりですが、会計の待ち時間が長くなることもあり、ご迷惑をおかけしております。可能な限り待ち時間の短縮に努めて参りますので、何とぞご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。

(せせらぎ会)

### ○猫への餌やりによる糞害について

・飼い主の不明な猫への餌やり問題は全国的に起こっており、こうしたことを規制する条例等を定めている自治体もあります。

本町にはこれに類する条例等はなく、法律的な縛りもないため、環境衛生の観点から行政が指導等することは難しいと思いますが、町への相談ですので、先方と一度私どもも話をしてみたいと思います。

(住民福祉課)

## ○ビン類の分別について

・町ではごみの集積場（ストックヤード）を設け紙類、衣類、ビン等少量でもいつでも出せる場所を作りますのでその活用もできるようになります。

びんの色や形が様々で色の濃淡もありますが、無色透明・白色（すり）びん、茶色びん、緑色びん、その他の色のびんに分けて頂ければ結構です。回収されたびんは、細かく砕かれカレットとよばれる再生原料になります。無色透明・白色（すり）びん、茶色びん、緑色びんは何度でもその色のびんとして再生されます。緑色びんはカレットの色の調合用にも利用されます。その他の色のびんは他の色のびんやガラス繊維、発泡骨材等の製品として利用されます。色の分け方は、現在のリサイクルにおいて最適な色の分類となっています。色の種類を増やして分けることは、住民の皆様には不要な手間をおかけしてしまうことになってしまいますので何卒ご理解下さい。

薬のびんについてですが、飲み薬のびんは上記記載の色分けでリサイクルできますので、別に飲み薬のびんだけ分けて出す必要がありません。ただし農薬や劇薬などが入っていた薬品のびんはリサイクルする際、有毒なガスを発生することがあり危険です。お買い求めいただいた販売店へ処分を依頼して下さい。

化粧品のびんは、耐熱素材や乳白色素材のびんがあり、ソーダ石灰素材のびんと一緒にリサイクルすることが困難なため不燃ごみとして出して下さい。現在では、化粧品のびんもソーダ石灰素材へ変更されつつあるようですが、耐熱素材や乳白色びんがソーダ石灰素材のびんと混ざってしまうと新しく作るガラスびんの強度や品質に大きく影響しリサイクル製品として再生できなくなります。

「1袋に1本だけ入れて出さなければなりません。」とのことについては、その状況で出さなくてはいけないということをございませので、ご自宅で保管して頂き、ある程度溜まってから出して頂ければ結構です。

なお、ごみの収集、運搬、処理を行っている北設広域事務組合へも確認したところ次の回答をいただきました。（住民福祉課）

・びん類等の分別につきまして、判断に迷う物をその他のびんで出すと必ず置いて行かれるとのことですが、その置いて行かれた物を確認しないことには、何が原因なのかわからないため判断がつきかねますので、これから、きちんと分別しているにもかかわらず、置いて行かれた時は、すぐに現場まで確認に行きますのでご連絡下さい。何故回収されなかったのかを確認し、収集作業員の回収判断に誤りが合った場合には直ちに改善指導します。（北設広域事務組合）

### ○本郷浅井の医師住宅の利用について

・医師住宅は、妻帯者医師用の住居として用意していましたが、ここ2年は入居者がいない状況ですので、医師に限定しないで一般の方の入居も検討します。  
(住民福祉課・地域支援課)

### ○町内の空き家に住民票の無い者の居住が散見、人物確認を

・空き家の実態はすべて把握していませんが、今後、組長さんや駐在所とも情報の共有に努めたいと考えています。  
(地域支援課)

### ○東栄町総合社会教育文化施設(東栄ドーム・花祭会館等)の案内表示を充実してほしい

・国道(151号)及び本郷保育園付近には案内表示があるが、全体的に表示が少ないので分りづらいかもしれません。

・今後は、各方面からの来客を想定し、分りやすい案内表示の位置を確認します。周辺地図を町ホームページに掲載し、東栄町全体の観光案内とも関連しますので、役場観光係と協議して案内表示を充実していきます。  
(教育委員会)

### ○町営住宅入居者に対し、町の予算を伴う消防団活動、花祭り、地域への参加を促す行政指導が必要では

・町営住宅入居の皆様には、地域活動・行事への参加をお願いしている状況です。今後におきましても、ご協力いただけるようお願いしていきたいと思ます。  
(事業課)

### ○東栄町に化粧品企業の誘致を

・化粧品関係の企業誘致について、三信鋳工株式会社社長と話をしたところ、「大手企業は現在東南アジア方面へ進出しており、コスト低減を図るため低賃金での雇用を考えている。大手企業が東栄町へ進出することは考えないだろう。ただ、下請け企業で2次処理を行う会社が運搬費用削減で東栄町へ工場を作ること考えられる」という回答をいただきました。したがって、早い時期の企業誘致は困難かと思われませんが、今後も各方面と企業誘致が出来るか話し合い、可能性を見出しながら進めていきます。  
(経済課)

### ○東栄町民の温泉利用料金を安くしてほしい

・現在、とうえい温泉では次のような割引を実施しています。

- 1、町営バスでの来場者：入浴料 100 円引き
- 2、70 歳以上の町内の人：敬老福祉券により入浴料半額
- 3、夕方 5 時から券：大人 1 人入浴 420 円に割引（5 枚綴り）
- 4、東三河全域の小中学生及び就学未満児：入浴料無料
- 5、町内の宿泊施設への宿泊者：大人 320 円、子供 200 円に割引

現状割引等の確認作業が受付で必要であり、休日等の混雑時に確認が多いと入浴者に迷惑をかけてしまいます。また、とうえい温泉を経営する株式会社とうえいは、民間会社なので利益を求めなければなりません。東栄町と株式会社とうえいとの間では、町民優遇措置として何ができるかということ話し合い、合意できることは実行していきたいと思ひます。 (経済課)

### ○林業の再生について

・ご指摘のとおり人口の減少により、今後は現在の用途での需要拡大は厳しいものと考えています。新たな販路としての海外輸出の可能性についてですが、愛知県では昨年に引き続き、木材資源有効活用実証事業として低質材から良質材の新たな用途拡大に向けて、輸出可能性調査を行っています。今後は愛知県と連携を強化し、広域での輸出の検討を進められるよう模索していきたいと思ひます。 (経済課)